稲城野草散策の会

野草スケッチ　セツブンソウ（キンポウゲ科）

2004/02/24　　栃木市　　絵と文：Ｔａ（広沢）

【スプリングエフェメラル】

待ちに待った春、百花繚乱の春はもうすぐだ。まだ風が冷たい日もあるが、春を待ちきれないかのように咲き始める植物群がある。「春の妖精」「スプリングエフェメラル」と呼ばれる花々である。アマナ、カタクリ、セツブンソウ、アズマイチゲ、フクジュソウ、ハナネコノメなどがその代表格であろうか。これらの花はウグイスもまだ歌をためらっているうちに咲き出し、４月中には姿を消してしまう。早春の陽だまりで一瞬の命をきらめかせる、はかなくも美しい花たち。彼女らの姿に魅せられ、遠くまで出かけていくファンも多い。

スプリングエフェメラルと呼ばれる花たちはどうしてこんなに咲き急ぐのだろうか。早春には霜が降りたり思わぬ雪に出会う危険性も大きい。そうしたリスクを冒してでも咲かなければならない必要性があるのだろうか。じつは、ちゃんとした理由がある。これらの花はたいてい雑木林の林床に咲く。まごまごしていた

会報第２号　2005 年2月１３日発行　発行責任者　尼子　房夫

ら、上の樹木が芽吹いて「日陰の花」になってしまう。子孫を残すための開花・結実という大事業は、さんさんと降り注ぐ太陽エネルギーを取り込まなければなし得ないのだ。それでも時間が足りないらしく、ニリンソウなどは細胞分裂を始めたばかりの「超未熟児」を種子として大地へ播くそうである。春、いち早く葉を開き花を咲かせるには、根に蓄えた養分を使っての「ロケットスタート」が望ましい。このため、上に挙げた花はみな多年草（宿根草）である。

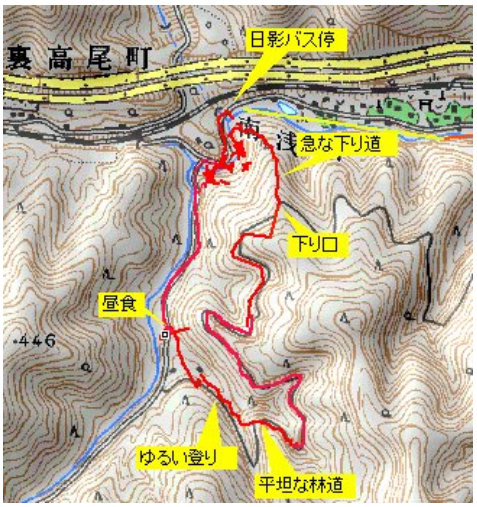
スプリングエフェメラルの中でもセツブンソウは特に早くから咲き始める。節分のころには開花する、という名前を持っているが、関東では平野部で２／末、少し山へ入ると３／初～中旬くらいであろうか。セツブンソウは石灰岩地に生えるため花が見られる場所は限られている。関東では栃木県の星野、埼玉県の秩父地方が有名だ。以前、秩父の両神村へ毎年セツブンソウを見に出かけたことがある。だいたい３／１０前後だった。かつてはセツブンソウが咲くだけの何もない雑木林だったのであろうが、いまや観光バスまで来るようになっているらしい。

里山のスプリングエフェメラルではアマナが私の一押しだ。奥多摩などへ行けば、道端で雑草のように咲いていることも珍しくないが、マイフィールドの多摩丘陵ではたいへんな貴重種なのである。自転車で行けるような近場で見つけたときはうれしかった。毎年、アマナが葉を開き始めるころになるとそわそわして様子を見に行く。咲き出すのは３月２０日ころからだが、待ちきれずに出かけて葉を見ては今年は数が少ない、どうしたのだろう、などと一喜一憂している。われながら無邪気というかガキみたいだ。子供みたいな好奇心から抜け出せないまま歳だけ重ねてきたということであろうか。

アマナが咲く里山は良い環境が保たれていて、たくさんの花が見られる場所でもある。先にあげたようなスプリングエフェメラルたちが、つかの間の春の饗宴を繰り広げているのだ。そういう場所を見つけるにはどうすればよいか。まずは歩くこと、といっても無闇に歩き回ればよいというわけではない。里山の生態系は人手が加わることによって成り立っている特殊な環境なのである。要は手入れが良いことが第一の条件であって、よく刈り込まれた田んぼの畦、土手、小川のほとり、雑木林の林床、こういったところに目をつけるとよい。私のノウハウをお教えしよう。田んぼだったら、雑木林に隣接していて、畦が曲がりくねっているところがお勧めである。春のぽかぽか陽気に誘われて、そんなフィールドを探しにでかけてみませんか。

〔iBEPAL 里山植物紳士録より〕

2005/3/20　裏高尾・日影沢

項　目	説　明	地　図
集　合	ａｍ１０時、日影沢の橋付近（今回は高尾駅ではないのでご注意下さい）	
交　通	ＪＲ中央線快速、特別快速高尾行きまたは京王線高尾山口行きをご利用下さい ＪＲ中央線高尾駅北口からバスで日影バス停まで来て日影沢の橋に集合して下さい バスは9時２９分、４６分があります（２２０円）	
行く先 （解散場所）	裏高尾・日影沢の渓流沿いの道、林道を歩きます 日影バス停　ｐｍ３時頃解散予定定	
見所 その他	見られそうな花：ハナネコノメ、コチャルメルソウ、アズマイチゲ、キクザキイチゲ、ニリンソウ、トウゴクサバノオ、アブラチャンなど	〔コース〕 日影沢の橋→ハナネコノメ→ウッディハウス（昼食）→いろはの道（ゆるい登り）→林道→急な下り道→日影バス停（解散・・・１５時頃））（上の地図を参照ください） コースは天候その他により変更する場合があります

※小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円。

〔行事記録〕１月１５日七草摘み、１６日七草粥

１１人のさむらいたち

雨にも負けず雪にも負けず、七草摘みに集まったのは、１１名でした。雨の中、黒川まで歩いて、雪にかわった汁守神社の周辺でナズナ、コオニタビラコ、セリ、ハコベを採取して来ました。明日の七草粥にはちゃんと入れられるだけ採りましたので、ご安心下さい。(FAM)

雪の中、七草摘みにいそしむ　↑
田沢さんが撮影したさむらい達　→

七草粥

前日が雪で七草摘みに参加出来なったことで気後れがしておいでにならなかった方が多かったようです。それでも２９名の参加があり、公民館で美味しい七草粥、お汁粉を作り、皆でいただきました。七草も余るほどあって、美味しかったですよ。十分に準備してあったので、遠慮しないで、もっと大勢いらっしゃればよかったのですが。

２００５年度の行事予定も皆さんのご意見をお聞きして最終決定をしました。データを整理してＨＰにアップします。バスは7月１４日（木）に「高ぼっち」、一泊観察会は5月１２日（木）～１３日（金）に「戸隠」で決まりました。（一泊旅行の予約受付中です。）

今回は本当に段取りよく出来て楽しい会になりました。催しの準備方をして下さった皆さん、本当にありがとうございました。(FAM)

（満井喬さんの書き込み）

雪の中若菜を摘んでくださいました１１人の方々、本当に有難う御座いました。七草粥を大変おいしくいただきました。子供の頃（戦時中）雑草を食べて育った私には、野草の味はまた一入でした。それにしても、野草はおいしいものですね。調理次第でしょうが。調理をしてくださった皆様、有難う御座いました。ベテラン主婦の手際のよさに感心しました。私も何か手伝おうと思ったのですが、ーーーやっぱり今回も食べるお手伝いしかできませんでした。ごめんなさい。